

市立第二保育所建設工事 幸手小学校大規模改修着工へ

工事請負契約を議決

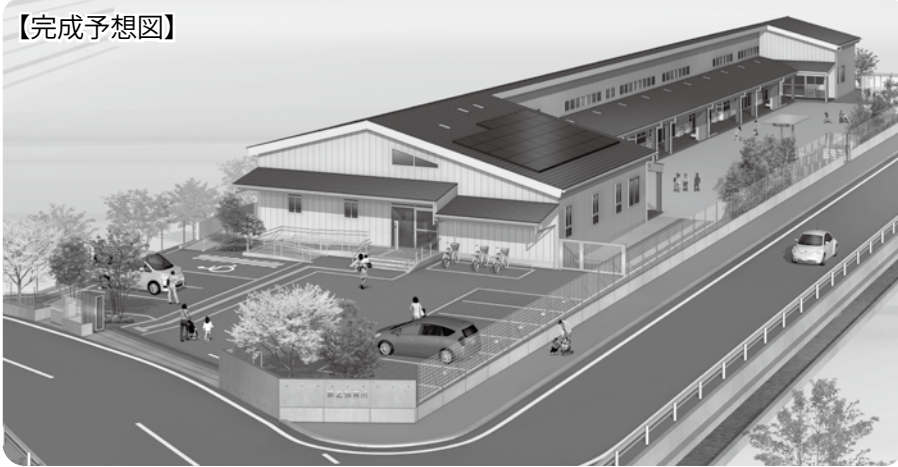
工事概要

建築面積 1154㎡
延床面積 986㎡
鉄骨平屋建て
児童入所定員 120名
工期 平成29年3月
契約金額
3億8599万920円
工事請負業者
斎藤工業株式会社

昭和48年に建設され老朽化が著しかった第二保育所が、このほど平成29年度の開設を目指し、市内大字吉野地内に新築されることになり、工事請負契約が議決されました。
子育ての拠点施設として一日も早い完成が待たれます。
なお、工事の主な概要は左表のとおりです。

市立第二保育所

【完成予想図】



市内小学校のなかで、最も早く鉄筋コンクリートにより、昭和43年に建設され、築後約50年を経過しようとしている幸手小学校の改修工事が、この夏休みを中心に行われることが決まりました。



6月定例会

平成28年6月定例会は、6月1日から6月24日までの24日間の会期で開かれました。
市長提出議案として、専決処分の承認を求めることについて8件、条例2件、工事請負契約の締結について2件、補正予算1件の13議案が提出されました。また、7件の報告がなされました。
更に、議員提出議案として決議案1件が提出されました。
審議の結果、いずれも原案のとおり、承認、可決されました。

幸手小学校
改修工事
2億5300万円

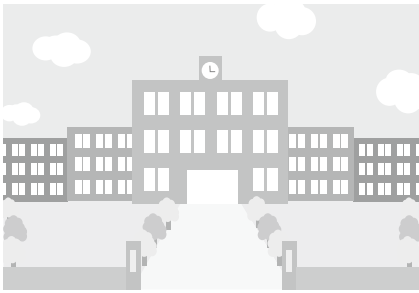
- ① 屋上防水改修工事
- ② 外壁改修工事
- ③ 内部改修工事
- ④ 給水管更新工事
- ⑤ 防火シャッター更新工事
- ⑥ インターホン設置工事
- ⑦ 受変電設備更新工事
- ⑧ トイレ改修工事
- ⑨ その他関連工事

工期 平成28年10月

工事請負業者

和光建設株式会社

安全な学習環境が整備されることが期待されます。



済生会栗橋病院の現行存続を求める決議

社会の高齢化は年々進み、今や本市に於ける高齢化率も30%を超え、今後も更に少子高齢化が進行することは明らかであります。この様な中で長寿健康社会の構築が、市民にとってもまた地方自治体にとっても、喫緊の大きな課題であります。その中核をなすものが地域医療の医療機関であります。

済生会栗橋病院は、現在地に平成元年開院以来、埼玉県東北部の中核医療機関として、更には、埼玉県災害拠点病院の指定を受け、また、地域救急センターを開設するなどされ、大きな役割を果たされてきました。殊に、本市に於いても、直近1年間に、一般診療3943人、入院397人、計4340人に及ぶなど、多くの市民の医療を通して、命と健康と安心が確保されてまいりました。

こうした中で済生会栗橋病院の急性期疾患に対応する医療機能についての移転計画が明らかにされました。本市にとりましても、多数の市民が現在利用されている極めて重要な医療機関であり、一部の移転計画とは言え、市民に大きな不安と動揺を与えております。

我々地方自治体の最大の役割である、市民の命と健康と安心を守る立場からも、済生会栗橋病院が、是非とも現行通りの診療機能を維持され、公的病院として、また、地域の中核病院として現行通り存続され、更なる充実発展されますよう心よりお願い申し上げます。

以上決議する。

平成28年6月24日

幸手市議会

済生会栗橋病院の
現行存続を求める決議

全会一致で可決

済生会栗橋病院の移転計画が公表され、市民の命と健康を守るうえで、重要な医療機関であることから、左記の議員提出決議案が全会一致で可決され、社会福祉法人恩賜済生会など関係機関に提出されました。